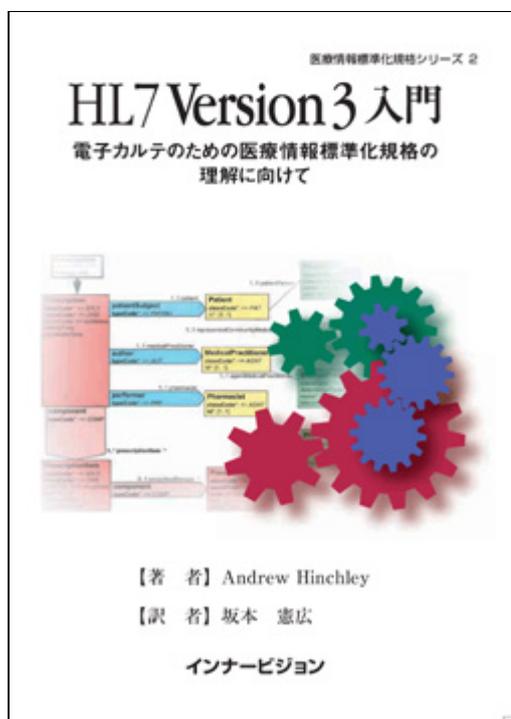


「HL7 Version3入門」発刊(2003年11月)

電子カルテのための医療情報標準化規格の理解に向けて



保健医療分野の標準化規格であるHL7 V3の日本語版入門書がついに完成。日本語版HL7 V2シリーズ解説書『HL7:医療情報標準化規格—その概略—』(木村通男訳)に続く第二弾として、英国HL7協会のメンバーによって書かれた解説書を世界で初めてV3の実装に成功した坂本憲広・神戸大学教授が翻訳。電子カルテ、あるいはポストゲノム時代の電子カルテである「ゲノムカルテ」にも不可欠なHL7 V3を理解するための必読書です。
(インナービジョン社広告原稿より)

【著者】

Andrew Hinchley HL7 UK

【訳者】

坂本 憲広 神戸大学医学部附属病院医療情報部教授
日本HL7協会運営会議委員、技術委員会委員

【定価】 2000円(税別)〈送料150円〉

【発行】インナービジョン社

〒113-0034 東京都文京区本郷3-15-1

TEL 03-3818-3502 FAX 03-3818-3522

E-mail info@innervision.co.jp

URL <http://www.innervision.co.jp>

※お求めは直接インナービジョン社様にTEL,FAX,Mail, ホームページ上の申し込みフォームでご注文下さい。税・送料込2250円で入手できます。

※日本HL7協会では本書を限定300冊で会員の皆様に特別価格1500円(送料無料で頒布します。ご希望の方はFaxで事務局までご注文下さい。入金確認後、発送します。詳しくはご案内([Word版](#)、[PDF版](#))をご覧ください。

【参考:目次構成】

第1章はじめに(Introduction)

- 1.1 本書は何について書かれているか
- 1.2 本書は誰を対象として書かれているか
- 1.3 本書は何を扱っていないか
- 1.4 本書の利用の仕方

第2章背景(Background)

- 2.1 HL7 の組織
- 2.2 HL7 の対象範囲
- 2.3 HL7 V2 の成功
- 2.4 HL7 V3 の必要性
- 2.5 HL7 V3 の優位点

第3章V3方法論の主要概念

(The Key Concepts of the V3 Methodology)

第4章ストーリーボード (Storyboards)

第5章アプリケーションロール (Application Roles)

5.1 トリガイベント

第6章HL7 V3 メッセージの作成

－ V3 モデリング手法－

(Making HL7 V3 Messages – the V3 Modelling Approach –)

6.1 参照情報モデル (RIM)

6.1.1 クラス (Classes)

6.1.2 関連 (Associations)

6.1.3 D-MIM と R-MIM におけるモデル表現

6.2 制約と詳細化

第7章R-MIM と D-MIM (R-MIMs and D-MIMs)

7.1 詳細化メッセージ情報モデル (R-MIM) の例

7.2 R-MIM 例におけるクラス

7.2.1 Act (行為)

7.2.2 Entity (実体)

7.2.3 Role (役割)

7.2.4 Participation (参加)

7.2.5 ActRelationship (行為間関係)

7.2.6 非中核クラス (Non-core classes)

第8章R-MIM および D-MIM のさらなる詳細

(More R-MIM and D-MIM Details)

8.1 エントリポイント (Entry Point)

8.2 クローンクラス (Cloned Classes)

8.3 選択 (Choice)

8.4 成果物の識別 (Identifying Artifacts)

第9章属性 (Attributes)

9.1 属性規則

9.2 構造的属性

9.3 よく用いられる属性

第10章ボキャブラリ (Vocabularies)

10.1 概説

10.2 HL7 ボキャブラリ表

10.3 拡張性

第11章 CMET : 共通メッセージ要素型

(CMETs-Common Message Element Types)

第12章データ型 (Data Types)

12.1 コード化データ型 (Coded Data Type)

12.2 その他の基本データ型

12.3 数と測定値

12.4 名前とアドレス

12.5 時間

12.6 汎用コレクション

第13章階層型メッセージ記述

(HMDs – Hierarchical Message Descriptions)

13.1 HMD グリッド

第14章実装技術仕様

(ITS – Implementation Technology Specification)
14.1 XML ITS

第15章 制約と詳細化 (Constraints and Refinement)

- 15.1 クローン化
- 15.2 ボキャブラリ制約
- 15.3 属性の出現の詳細化
- 15.4 データ型の詳細化
- 15.5 CMET 制約
- 15.6 明示的に宣言された制約

第16章 ローカル化 (Localization)

第17章 メッセージラッパー (Message Wrappers)

第18章 ツール (Tooling)

- 18.1 Visio (HL7 テンプレート付)
- 18.2 RoseTree
- 18.3 公表用ツール

第19章 参考文献および参考書

(References and Further Reading)

第20章 用語集 (Glossary)